

この紙のゴール：分詞構文の基本形・否定形・完了形・受け身と付帯状況の with を、場面に合わせて使える / 選んで答える版。じっくり読めば必ず解けます。

1 場面合うほうを○でかこもう。

知識・技能

各3点

(1) 散歩の途中、角を曲がったとき	(Turning / Turned) the corner, I saw the sea.
(2) 知り合いのいないパーティーで	(Not knowing / Knowing not) anyone at the party, I stayed near the door.
(3) 掲示板のお知らせについて	(Printing / Printed) in large letters, this notice is easy to read.
(4) 校門で待っていた友だちのようす	He was waiting for me with his bike (parking / parked) by the gate.

2 対話を通じるように（ ）に英語を書こう。

知識・技能

各2点

語群：sit / reach / walk (1回ずつ使う。形を変えるものもある)

A: How was the school festival?

B: Great, but crowded. () the gate, I was surprised at the long line.

A: I know. () around for two hours, I was too tired to enjoy the last show.

B: Really? I watched it with my friends () beside me. It was the best part.

3 自分のことを書こう。

思考・判断・表現

2点

学校での「あるひとコマ」を、分詞構文を使って英語1文で。
書き出しヒント：Walking into the classroom, I ...

4 分詞構文のきまりで考えよう。

思考・判断・表現

各2点

「電車に乗るとき、私は傘を落としてしまった」のつもりで、ある生徒がこう書きました。
Getting on the train, my umbrella fell onto the platform.

① この英文だと、電車に乗ったのは何（だれ）ということになりますか。
ア 私 イ 私の傘

② 意味が正しく伝わるように、分詞構文のまま英文を書き直そう。
ヒント：Getting on the train, I ...

解答

1		2	
(1)	Turning	(1)	Reaching
(2)	Not knowing	(2)	Having walked
(3)	Printed	(3)	sitting
(4)	parked		

3（解答例） Walking into the classroom, I found my friends practicing for the chorus contest.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	私の傘（my umbrella）	分詞の主語は主節の主語と同じ＝ここでは my umbrella。「傘が電車に乗った」としか読めない。ここが答えられれば、分詞構文の芯は分かっている。
②	Getting on the train, I dropped my umbrella.	主節の主語を I にすれば、分詞の主語も I になる。While I was getting on the train, ... と接続詞に戻すのも英語としては正しいが、ここは「分詞構文のまま」が条件。onto the platform を足しても可。

採点のめやす

- ・大問1(3)は受け身の分詞構文です。Printing と答えた生徒は「-ing で始めれば分詞構文」と覚えている合図―見取り図プリントの整理表「受け身」の行に戻るのが早道です。
- ・大問1(4)は付帯状況の with。自転車は「とめられる」側なので parked。with のあとの目的語と分詞の関係（する側か・される側か）だけを見れば決まります。
- ・大問2の2つ目は Having walked（歩き回ったのは「疲れた」より前）。Walking と書いた答案も前後関係は文脈で補えるので、部分点を与える運用でかまいません―採点前にクラスの方針を決めておいてください。
- ・大問2は対話体ですが、分詞構文はもともと書き言葉の形です。実際の会話なら When I got to the gate, ... と接続詞で言うのがふつう―「テストは形の確認、話すときは接続詞」と一言添えると、発展版ドリルの「使わない判断」と矛盾しません。
- ・大問3は「-ing または過去分詞で始まり、そのあとに主語＋動詞が続き、-ing の主語が主節の主語と一致している」形なら、内容は問いません。主語がずれた答案（Walking into the classroom, the chorus contest ... など）は、ここだけ必ず赤を入れて書き直させます。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。①で「私の傘」と答えられた生徒は、**分詞の主語＝主節の主語**という原則が身についています。「私」と答えた生徒には、②を直す前に「-ing しているのは誰か」をもう一度たずねてください。
- ・大問4を加えて24点構成です。10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。
- ・発展版の大問1は (1) Having turned、(3) Being printed も正解として扱ってください（2択版では出ない答えです）。
- ・発展版の大問3（2文目）は分詞構文でなくてよいことを採点前に確認してください（I was happy to see them. で正解です）。